

教養教育科目

講義科目

授業科目名	コミュニケーション論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	嶋田 淑之	GA34	1	2
<b>科目の概要</b>				
<p>現代の情報化社会では、モノや情報は足りていても、心が満たされるコミュニケーションがとれない、という状況が起きている。</p> <p>本科目では、対人コミュニケーションに的を絞り、行動科学に基づいた実践的コミュニケーションの方法を学習する。テキストの第1・2章では、コミュニケーションの基礎的理論を学習し、第3・4章では「交流分析」と「ソーシャル・スタイル」という実践的手法を用いて豊かな対人関係のあり方を学習する。</p>				
<b>科目の到達目標</b>				
<p>①コミュニケーション論の基本概念や専門用語について理解し、説明することができる。</p> <p>②現実社会におけるコミュニケーションについての事例を論理的に考察できる。</p>				
テキスト	『コミュニケーション』宮城 まり子, 産業能率大学			
<b>テキストの読み方</b>				
<p>①コミュニケーションとは何か、その機能と重要性を理解する。</p> <p>②コミュニケーションに関する基本的なキーワード(人名含む)、キーコンセプトを身につけ、使いこなせるようにする。</p> <p>③それを通じて、自らの(さらには、自分と関係の深い他者の)コミュニケーション特性を知り、日常生活を、より円滑で充実したものにする契機となす。</p>				
<b>単位修得の方法</b>				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				